

目標達成計画

作成日: 平成30年4月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 35	地域の方に存在を知って頂いてはいるが、認知症の方がいることやグループホームの特性などはまだ知って頂いていないと思われる。日頃の交流が薄いので、災害時や緊急時の協力が得られないと考えられる。	グループホームの特性を知って頂き、気軽に声をかけて頂く関係を作る。	・地域に散歩を繰り返し、挨拶と会話を繰り返すことで、地域住民と馴染みの関係づくりを目指す。 ・地域の行事に継続して参加する。 ・地域交流室を利用して、体操や料理、勉強会など地域の方と交流の機会を作る。	12ヶ月
2	20 23	ご利用者の思いやこれまでの馴染み、習慣を取り入れようと努力しているが、馴染みの場所に出かけたり、個別の希望が具体的に実現できていない。	利用者個別の生活歴や習慣を振り返り、ご家族と協力して、個別の取り組みを行う。	・ご利用者の思い出の場所など、各担当で思いを知り、ご家族の協力のもと外出を実施する。 ・各担当を中心に、ご利用者の興味や趣味を知り、個別に行う活動を始める。	12ヶ月
3	40	検食のシステムがなく、提供している食事の味付けや固さ、食べやすさなどを実感できていない。各々の思いで調理を行っているため、自分好みの味付けや食材の切り方になっている可能性がある。	検食を行うことで、調理技術を高め、ご利用者目線に立った食事作りを行うことができる。	・検食を行い、相互に献立や味付け、切り方などを助言しあうことで、調理技術を高める。 ・検食を行うことでご利用者の目線に立って介護を行う意識を高める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。